

古賀市議 ぬま健司のニュースレター

HP numakenji.jimdo.com / facebookでもニュースを発信！
第5巻 第4号 2014年2月8日発行



古賀市議会 議長
奴間 健司

古賀市都市計画審議会が都市計画道路の変更に同意 地域住民の合意形成など3点の意見を付して

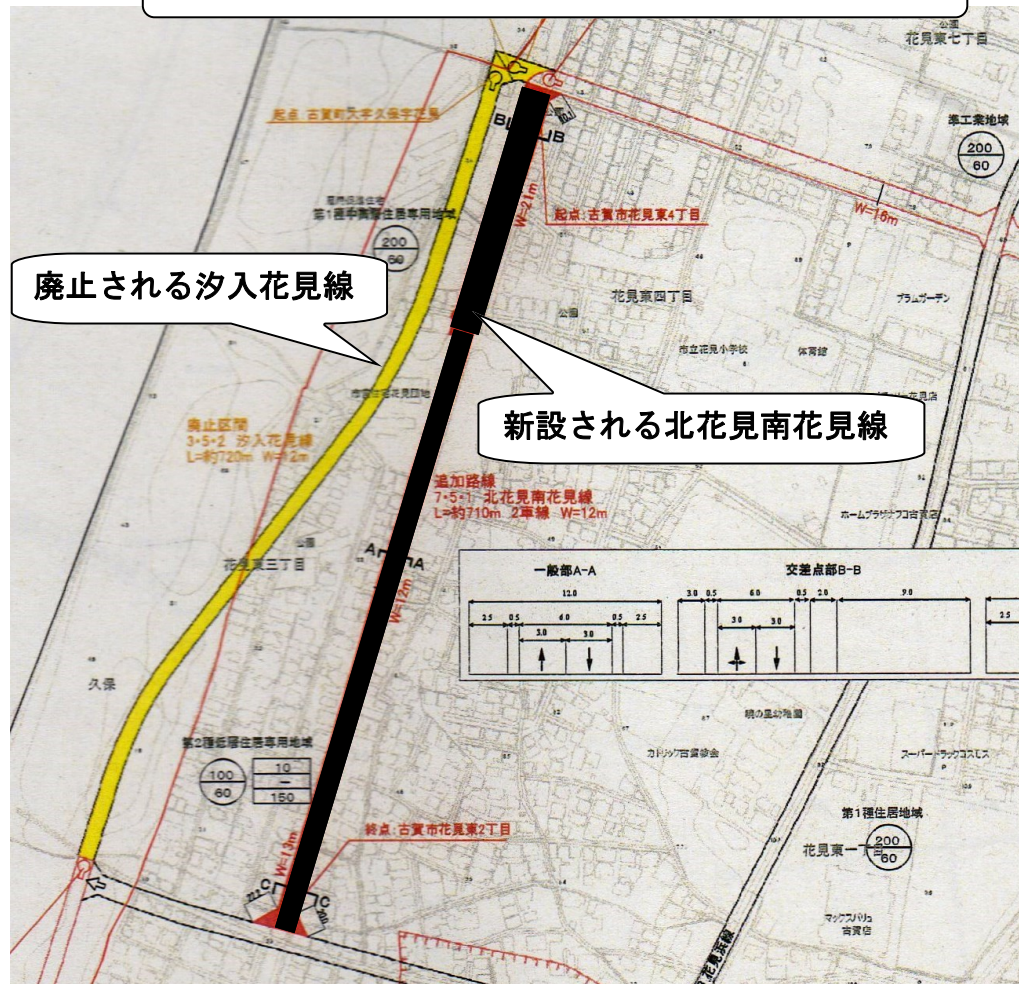
古賀市都市計画審議会は1月30日、都市計画道路の変更について「同意」という答申を竹下市長に提出しました。

答申では、宮地岳線跡地に整備する都市計画道路について様々な意見があることから、優先度の考慮や地

域住民への合意形成など3点の意見が付されました。

古賀市はこの答申を県に報告し、告示することになります。すでに着手している浜・大塚線などの道路整備が完了した後、答申の意見を尊重しながら新たな道路整備に入って行くものと思われます。

参考資料・花見地区における都市計画道路の変更箇所



参考資料・宮地岳線跡地の都市計画道路の新設理由

7・5・1 北花見南花見線

当路線は、国道495号とともに市西部の市街地の骨格を形成する道路である3・5・2 汐入花見線の代替路線として3・4・11 花見佐谷線との交差点部（古賀市花見東4丁目）を起点とし、3・3・4 新宮古賀線との交差点部（古賀市花見東2丁目）を終点とする延長約710m、幅員12mの区画街路として都市計画決定するものである。

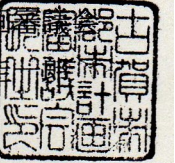
当該地区は、近年住宅開発が進み人口が増加している花見小学校区であり、生活道路に福津市方向から通過交通が流入し、通勤・通学時には、車と歩行者・自転車との輻輳があり、交通事故の危険性が高い状況である。また、地区内の道路は幅員4m以下の狭隘道路が多く、地震や火災などの災害時には消防、救急活動に支障をきたすことも予想される。これらの地域課題を解決し、市民が安心して安全に暮らせるようにするため、市西部の住宅地の交通を分散させる役割を果たす当路線を都市計画決定するものである。

参考資料・都市計画道路整備を同意した答申

平成26年1月30日

古賀市長 竹下 司津男 様

古賀市都市計画審議会
会長 日高 幸三



古賀都市計画道路の変更（古賀市決定）について（答申）

平成25年12月20日付25古都第770号で諮問があった標記の事項については、同意します。なお、次のとおり意見を付します。

1. 都市計画道路の整備に当たっては、道路ネットワークや通学路等の状況をふまえ、総合的な判断により優先度を考慮し整備していただきたい。
2. 道路整備を行う際には、地域住民へ十分な説明を行い、合意形成に努めていただきたい。
3. 社会経済状況の変化や周辺道路整備の状況等も踏まえ、必要に応じて適時適切な都市計画道路の見直しを行うことが望ましい。

以上



ぬま健司事務所

Facebookも利用しています！

(事務所) 古賀市千鳥2-3-7 安部ビル103
電話/FAX: 092(944)2639
(議会事務局) 古賀市 駅東1-1-1
電話: 092(942)1134
FAX: 092(942)1160
(自宅) 古賀市 花見東5-4-10
電話/FAX: 092(943)4427

ホームページもご覧ください

numakenji.jimdo.com/

古賀市議 ぬま健司のニュースレター

HP numakenji.jimdo.com / facebookでもニュースを発信！

第5巻第4号 2014年2月8日発行

明らかになった新たな生涯学習センター（仮称）の基本設計概要

2014年度着工し17ヶ月で完成へ（総事業費約15億円）

2月7日、古賀市議会・文教厚生委員会の所管事務調査が行われました。その中で、研修棟を建て替え、新たに建設される生涯学習センター（仮称）の基本設計の概要の説明がありました。2014年度（平成26年度）に着工し、17ヶ月をかけて2016年度に完成する予定です。この概要は、今後も利用者の意見を反映させることもあり、一部変更の可能性もあります。

建設される場所は、現在の中央公民館（リーパスプラザ）と図書館の間の空間です。リーパスプラザ、生涯学習センター、

図書館はそれぞれ連結されます。

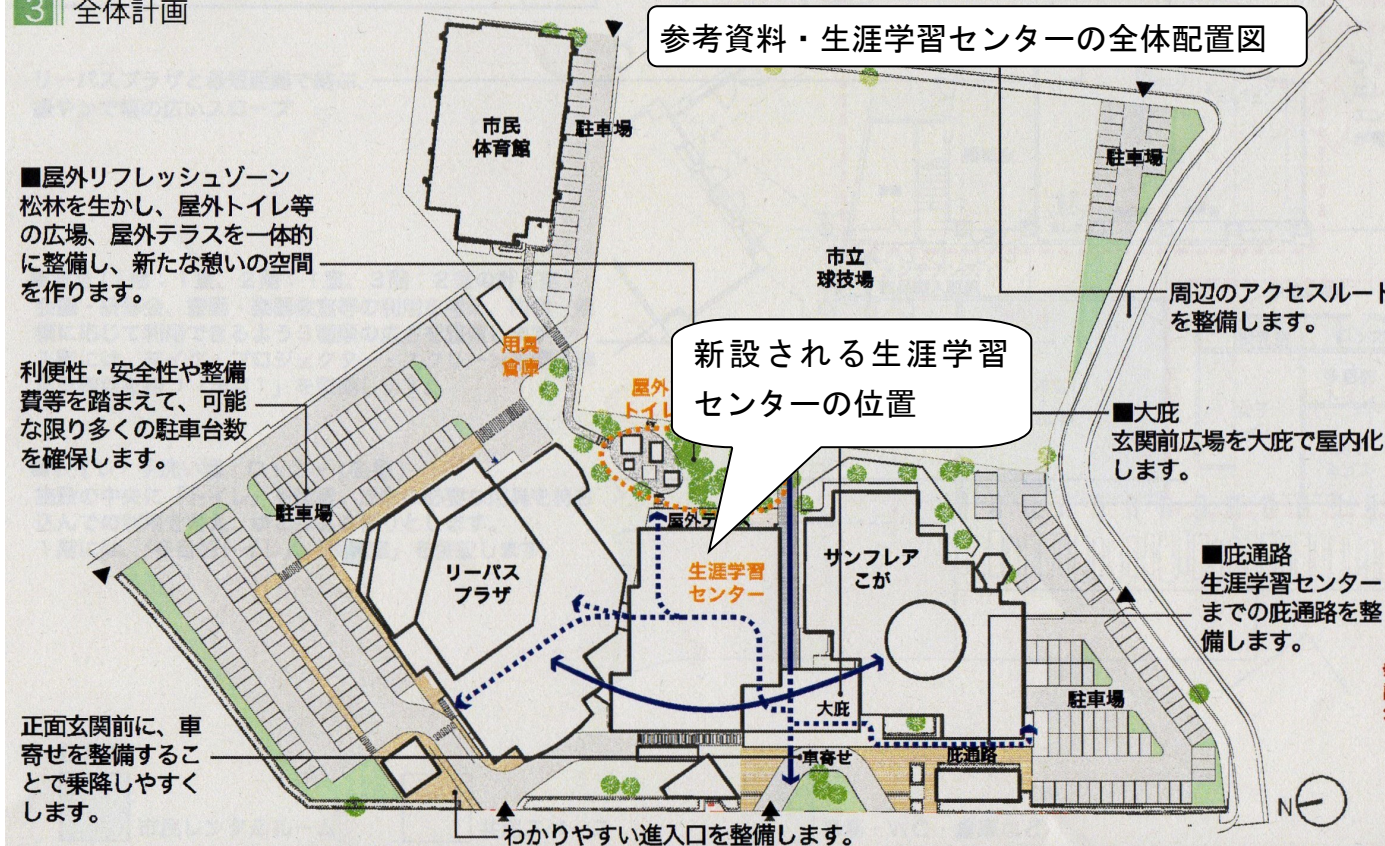
3階建てで、現在の研修棟にある部屋の機能は維持され、新たに300人収容の多目的ホールが整備されます。

総事業費は、耐震化に加え資材や労務単価値上げもあり約15億円となる見込みです。担当課職員は、「まちづくり交付金」など国の補助金を活用し可能な限り市費負担を軽減する努力をしています。

多くの市民にとって利用しやすい、素晴らしい施設になることが期待されます。

3 全体計画

参考資料・生涯学習センターの全体配置図



参考資料・生涯学習センターの3つのキーワード

古賀市生涯学習センター(地域交流センター)及び周辺施設整備事業[概要]

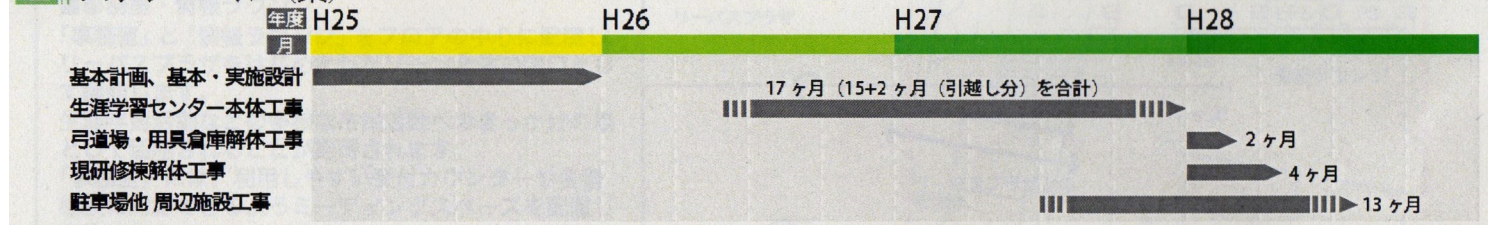
古賀市は、新しい研修棟の機能や配置、駐車場や車の出入りのしやすさ、環境への配慮等を重視した新しい『生涯学習ゾーン』の整備を進めます。新しい研修棟をゾーン全体の玄関口として利用者間の交流を進めることで、学習活動のきっかけが生まれ、ゾーン全体が賑わうことをめざします。

1 整備を進める3つのキーワード

- 人と人をつなぐ** 新しい研修棟を、「リーパスプラザホール棟」と「サンフレアこが」に囲まれた広場に建て、出入りのしやすい駐車場を整備することで利便性を高め、ゾーン全体をつなぎ、新たな人の流れを生み出します。
- かたちをつなぐ** 建物の空間を、見通しのよいフォーラム(玄関吹抜ホール)を中心に、同じ用途の部屋を階毎に集め、“多様な活動が見えつなげる開かれた空間”にします。
- 未来へつなぐ** 建物の機能を、自然の恵みを活かした省エネ・省コストな造りとし、誰もが利用しやすいユニバーサルデザインとすることで、世代を越えて長く使える施設をめざします。

参考資料・生涯学習センターの整備スケジュール

2 スケジュール (案)



参考資料・生涯学習センターの各部屋の整備内容・多目的ホール（300人収容）

6 各部屋の整備内容 現研修棟の部屋数を基に、利用状況やアンケート結果等を踏まえ検討

室名	現状			運営後			主な利用内容	その他の特殊機能
	面積(m ²)	室数	部屋番号	面積(m ²)	室数	計		
70-71号室 大	89	2	(206・306)	110	1	3	ダンス、舞踊、体操等	3室とも準防音機能
70-71号室 中	79	1	(307)	80	2	3		
洋室 大	86	1	(304)	80	2	4 (Δ1)	会議、研修会、絵画・楽器・語学教室等	2室のみ準防音機能 可動間仕切りの開放により70-71号室と一体化
洋室 中	66	2	(103・202)	60	1			
洋室 小	33	2	(207・303)	35	1	4 (Δ2)	舞踊・ヨガ、着付け、生花、書道、楽器教室等	1室のみ準防音機能 2室は連結利用可 可動間仕切りの開放により70-71号室と一体化
和室 大	95	2	(104・105)	80	3			
和室 小	33	1	(107)	40	1	2 (+1)	楽器・バンド演奏、コーラス、ミニコンサート等	2室とも防音機能 楽器庫を併設
音楽室	90	1	(201)	110	1			
調理室	92	1	(106)	120	1	1	料理教室、イベント時の下ごしらえ・炊き出し等	屋外テラスを併設し、ゾーン内の休憩・飲食エリアとしても活用
工作室	90	1	(101)	120	1	1	陶芸、木工、絵画等	
フリールーム	86	1	(305) →閉蔵に特化	80	1	1	3階部：(囲碁用備品を収納式とすることで)普段はフリールームとして利用	準防音機能
学習室	99	1	(302)	110	1	1	個人学習(80人収容)	
小計	1479			1380				
フォーラム・大庇 2階連絡通路	-	-	(-)	-	-	-	(市民が気軽に企画・利用できる)交流スペース、情報ラウンジ、休憩コーナー等を整備	
多目的ホール	-	-	(-)	260	1	1(+1)	2階部：全面700㎡な造りで、ステージ、音響・照明・映像設備を完備(300人収容)分割利用も可	
リースペース (休憩スペース)	-	-	(-)	40	1	1(+1)	2階部：可動間仕切りの開放によりギャラリ化(115㎡)	
計						19	※建替面積は、これまでの約1.5倍(フォーラム、多目的ホール、リースペース、2階通路連絡等の新設による)	